

こども・若者意見交換会について

MRI エム・アール・アイリサーチアソシエイツ

2025/12/12

実施概要(1)

実施概要・
目的

(以下、提案書から一部抜粋。表現は一部修正。)

こども基本法第3条では、こどもの意見表明の機会、こどもの社会的活動への参画機会の確保を基本理念として掲げている。また、こども家庭庁で実施した「諸外国等におけるこどものウェルビーイングの概念と測定方法に関する調査報告書」においても、「こどもの意見表明・参画」の重要性が指摘されたことから、沖縄のこどものウェルビーイングを把握するためには、こどもの意見の反映が必要であると考えます。

これらを踏まえ、本調査では、おとなを介した意見だけではなく、こどもからの生の意見を反映した調査結果・対応策案とするため、こどもの社会的活動への参画機会としてこども会議（こども・若者意見交換会）を実施する。また、実施内容をこども向けのフィードバック資料にまとめ、参加したこどもたちに配布することで、こどもの社会的活動への参画意識を醸成する。

上記意図により、こども・若者意見交換会では、特定のテーマについてこどもたちから意見を聞くだけでなく、自身の意見の発信と相互理解を図ることができるよう、小人数のグループで議論をし、その内容を全体で発表する方法での実施を予定している。なお、こども家庭庁「こども若者★いけんぷらす」で行っている「いけんひろば（プラスメンバーが意見を伝える機会）」でも同様の方法にて実施している。

具体的に、こどもから意見をもらうテーマとしては以下を想定している。※テーマの方向性が確定後、具体的な実施フロー（実施方法、問いかけ等）を作成予定。

実施テーマ案		聴取目的
1	（自分が）将来、幸せな生活を送るために、今、どのようなことが必要だと思うか。	中長期的にウェルビーイングな状態（身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態）にするために、今、どのようなことが必要かについて、こどもから意見を聴取する。将来を踏まえた聴き方をしても、教育などの長期的な視点での意見が出ない場合はその視点が無い状態であると判断し、今後の研究テーマ等の検討のための情報とする。 【18歳以上】現状の内容に加え、こども時代を振り返って意見をもらう。（あのときああすればよかった、こうしてよかった、こうしたことがよかった等） また、将来、沖縄県に居続けたいかを会話の流れの中で確認。その理由も併せて把握。沖縄県として魅力となっていること、課題となりうることを明確化し、今後の研究テーマ等の検討のための情報とする。
2	こどもから意見（声）をもらうためにはどのような方法がよいか。	研究体制の機能としてこどもからの意見を集めることが重要であるため、どのような方法・アプローチであればこどもたちからの意見を集めやすいかをこどもたちに確認し、検討できるようにする。なお、進路、貧困、いじめ等テーマによってよりよい方法が異なると想定されるため、その点も意識して聴取する。

実施概要(2)

実施日時	2026年1月17日（土） 14：00～16：00				実施方法・実施場所		1会場で対面での実施、会場是那覇市内を想定。				
対象者	10歳～25歳、10～15名程度を想定。（機縁法にてリクルーティング。参加者募集時に提示する資料はスライド4に参考資料として掲載。） 幅広い沖縄のこどもの意見を反映できるよう、以下の10層ができるだけ1名以上含まれるようにリクルーティングを行う。 ※会場の関係で、居住地是那覇市中心になる可能性が高い。 ※今までの協議体でのご意見やテーマ案（こどもの長期的な成長の観点）等を踏まえ、18歳以上（大学生、社会人）も対象に含める。										
		小学生（10-12歳）		中学生（12-15歳）		高校生（15～18歳）		大学生（18歳～25歳）		社会人（18歳～25歳）	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	居住地：本島	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
実施内容	参加者の人数、学齢等に応じていくつかのグループを設定（1グループ3-4名程度を想定）。（最大4グループ） 個々の意見が拾えるようグループ内で議論をし、その内容を全体で発表する方法を取る。議論がスムーズに実施できるように、各グループにファシリテーターと板書係を置く。当日の流れ（イメージ）は以下のとおり。内容に応じて、時間配分・構成等は変更予定。 ○当日の流れ（イメージ）										
	所要時間*		内容				備考				
	10分/10分		趣旨説明、テーマ①について説明				全体で実施				
	10分/20分		自己紹介（アイスブレイク）				グループで実施				
	30分/50分		テーマ①グループディスカッション								
	15分/65分		テーマ①発表				全体で実施				
	10分/75分		休憩				-				
	5分/80分		テーマ②説明				全体で実施				
	20分/100分		テーマ②グループディスカッション				グループで実施				
	10分/110分		テーマ②発表				全体で実施				
10分/120分		全体の振り返り、閉会				全体で実施					
-		謝礼配布等				-					
※所要時間については、各パートでかかる時間/そこまでの総時間 で記載。											
○当日の会場配置(イメージ)											
 「テーマ案1」では、18歳以上のみ聴取する内容が含まれるため、18歳以上（大学生・社会人）で1グループ、それ以外の学齢で2－3グループの設定となる想定。											

【参考資料】こども・若者向け概要資料

こどものウェルビーイングに関する こども・若者 意見交換会のお知らせ

概要

こども・若者 意見交換会 - 沖縄のこどもや若者のウェルビーイングとは -
内閣府では、沖縄のこどもや若者の幸せ(ウェルビーイング)のあり方を検討するた
めに、こども・若者 意見交換会を実施します。みなさんの参加をお待ちしています。

テーマ (みなさんに聞きたいこと、一緒に考えたいこと)

内閣府では、沖縄のこどもや若者が、将来にわたって幸せな状態で過ごすために、
どのようなことができるのかを検討しています。
そこで以下の2つのテーマについて、みなさんの意見を聞かせてください。

テーマ1: 将来、幸せな生活を送るために、今、どのようなことが必要ですか？

《例えば》

- あなたは将来の幸せについて考えたり、イメージしたことはありますか？
- あなたが思い描く将来の幸せを手に入れるために、足りないもの、
できていないことは何ですか？それらを手に入れるために、
自分以外の誰からどんなサポートがあったら嬉しいですか？

テーマ2: あなたやあなたのお友達の考えや意見をもっと知って、 大人が応援をしていきたいと考えています。 どのような方法がよいと思いますか？

《例えば》

- あなたやあなたのお友達が、もっとこういう活動に興味をもったり、
参加してくれるようになるためには、どのような点を見直したら良いですか？
- あなたやあなたのお友達が、大人に自分の意見や考え方を伝えたいと
思うのはどんな時ですか？また、伝えたくないと思うのはどんな時ですか？

※当日お聞きする内容は多少変わる可能性があります。

意見の活用方法

みなさんの声を、内閣府の取組み(調査の報告書、専門家の会議で使う資料など)に
活用します。

実施内容

実施日時: 2026年1月17日(土) 午後2時から午後4時(2時間程度)
実施場所: 那覇市職員厚生会 多目的ホール
(那覇市おもろまち1-1-2 上下水道局庁舎B棟3階)

《アクセス》

モノレール:
おもろまち駅: 徒歩10分
路線バス:
おもろまち駅前バス停: 徒歩10分
おもろまちバス停: 徒歩3分
サンエー那覇メインプレイス
東口バス停: 徒歩5分



参加人数は、全員で10～15人くらいの予定です。

3～5人で1つのグループになっていただきます。各グループに司会役1人、板書係1人が
参加し、主に司会役が、各グループのみなさんの意見や考え方をお聞きします。
その後、みなさんと、グループ内で話した内容を他のグループの人たちに発表します。
内閣府から依頼を受けた実施事業者(エム・アールアイ リサーチアソシエーツ、サーベイリ
サーチセンター)が司会役・板書係として参加します。
※未成年の方は、保護者の方に相談のうえ、参加をお願いいたします。

参加するみなさんをお願いしたいこと

- ・ みなさんが安心して参加できるように、今回の意見交換会を通じて知った自分以外の人
の情報、自分以外の人々が写っている写真、誰が何を話したか、などは、他の人(友達・先
生・家族・SNSなど)に言わないでください。
- ・ みなさんの意見を正確に記録できるように、当日は録音します。録音したものは、
記録のため以外には使いません。
- ・ みなさんからの意見は、国などの報告書や会議資料などに記載され、公開されることが
あります。その際は、個人が特定されないよう編集を行います。
(発言者は「小学5年生(女性)」「社会人20代前半(男性)」のような形で記載予定)

【実施主体】 内閣府沖縄振興局総務課事業振興室
【お問合せ先】 株式会社サーベイリサーチセンター 沖縄事務所
フリーコール 平日9時から17時 ☎0800-888-5585
メール ☐ well-being@surece.co.jp

わからないこと、
気になることがあれば、
お問合せ先まで
ご連絡ください。

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI エム・アール・アイリサーチアソシエイツ